

にあつて、手近かな利権活動をつゞけてゆこうと云ふのである。

大阪は労農統一メーデー、新潟は三ヶ村をやつた。奈良は止蕨下田町、高知は秋山村、青森は青森市千葉は市川町、福岡は企救町、岡山は岡山市でこれ外にはゆる非當時下のメーデーを活動に戦つた。宮城は最初のメーデーは仙台でやるべく労働団体、大衆党に提唱して早くから準備をしたのに、不許可となり、演説会も開会五分にして解散されてしまつた。

農村政治同盟

新潟縣議の本年度大会は、その運動方針に於て農村政治同盟の結成を決定した。これは今日の農村に解消する唯一の道は政党组织より官僚政治への復活ではなく、むしろ中央集権制の廃止であり、民権と農村自治の正しい秩序であり、その意味に於て今日の政党组织の没落に際して政党组织を超越したる中農、貧農を一丸としたる全面的なる農村政治同盟を結成する必要があると云ふのであり、また同じ運動方針の別のと云つて、貧農と中農とを分裂せしむる農村フアッシュヨの發生となりつゝある。吾々はかゝる際、特に貧農と中農との同盟を強固にし、農村政治運動の方向に農民組合として積極的の歩みを出せしむることにしよう。貧農の政治的要求を貫徹しなればなり。ぬ。白木に於ける来るべき改革は農民改革である。そのためには、全面的なる農村運動とは別個に全農を中心として貧農の政治的経

済的結成を計らなければならぬ。」としてある。

吾々はありゆる場合、いよいよも農民生活の向上に多少とも実利を保證する要求に努力するわけがあるが、当面に於て最も必要とされることは、どんな題目がその地方に於ける勤勞農民の熱求に比つたりあつて、広く立ちあがらせ、そして全農を拡大強化し得るか、またそれら做つて、これだけ、中農を全農の同行者として深くひつぱり込ませるかにある。この仔細に討論され提案され長る題目からなごり、型をはめるやうに、農村政治同盟と云ふやうなものを恒常的な組織をつくることは、指導者の意図がどうありうと、農村を都市に対立せしめ、農民に於ける階級対立を抹消するやうな極めて危険な結果を生かすこととなるであらう。この点については大会に於ける一代表員の質問に対して説明者は次の如く答へてゐる。

『農村政治同盟とは貧農と中農とを一時的な同盟に結成することを意味するのであるが、勿論その中に貧農のメーデーを確立することが必要である。』

統一戦線運動

千葉の統一戦線は幾度かの準備工作の努力を辛抱強くやつて、解体した旧全農支部のなかで大衆的勢力をもつ部分との統一支部代表会試（公明代表者六十八名）を選挙期にすぎを迷んでやり、完全に下からの統一をやつた。